

# パレットヒルズ構想 改訂版

第1版 平成25年8月

第2版 令和2年2月

第3版 令和8年4月

鷹栖町産業振興課

The logo for Palette Hills, featuring the words "Palette Hills" in a stylized, multi-colored font. The letters are filled with a rainbow gradient, transitioning from red on the left to blue on the right. The font is a rounded, sans-serif style.

# 第2版の基本的な考え方を踏襲 (p3~8)

# 基本方針

Palette Hills



自然と  
共生した杜

町民と行政と  
の協働作業に  
よる手づくり  
の杜



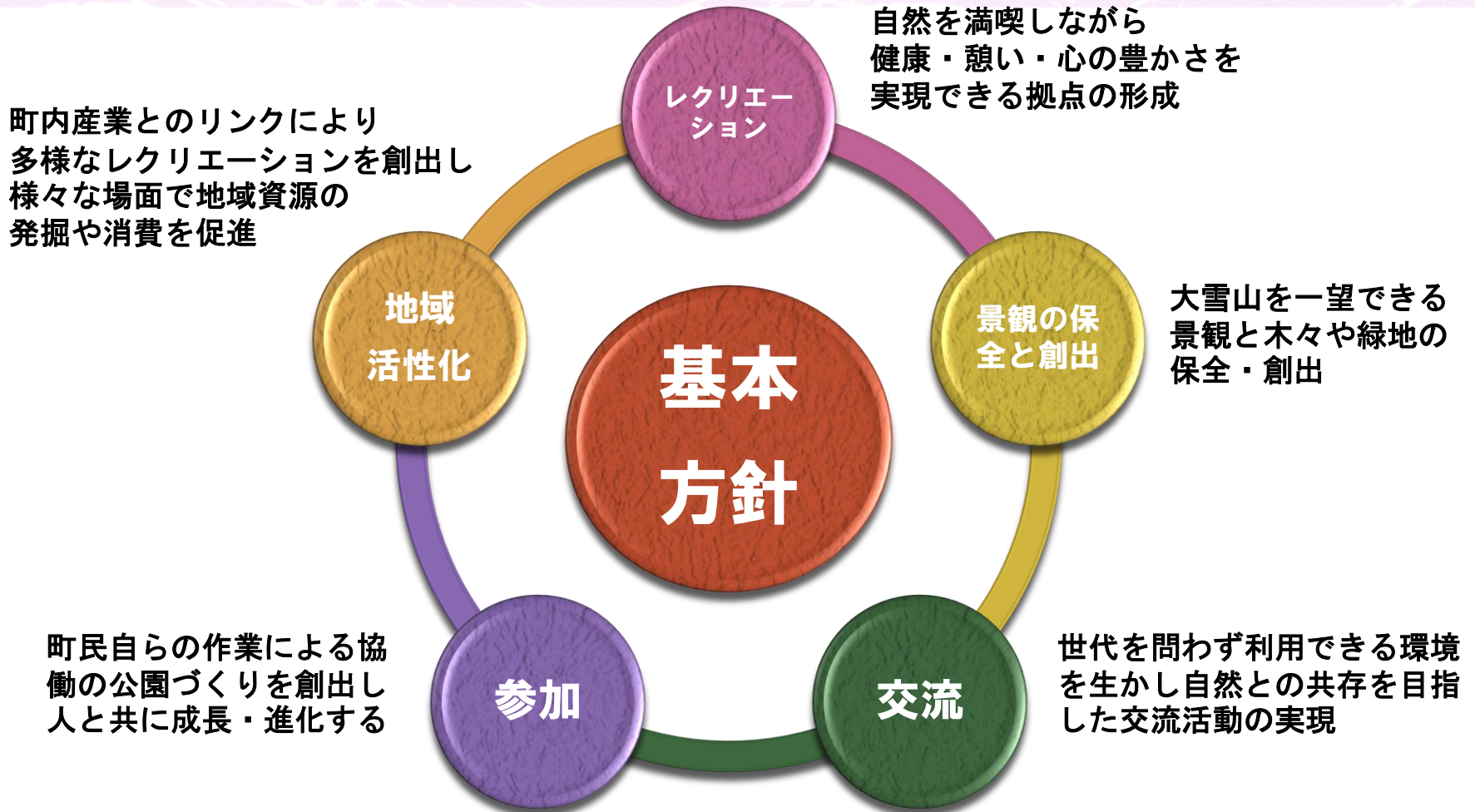
ニューツーリ  
ズムを意識し  
た観光資源と  
しての杜

次世代に引き  
継ぐ町民の杜



テーマ：自然との共生の中で健康・心の豊かさ・楽しさに満ち町民と共に常に進化し、四季を通して自然を満喫できる21世紀型公園

Palette Hills



# 整備方針の4つのポイント

## ～持続可能な公園づくり～

Palette Hills

### 人と自然との共存を目指して 環境保全の取組

- ◆自然環境資源の魅力を活かした自然とのふれあいの場を提供するため、今ある環境を大切に、多様な空間を創出する
- ◆自然環境に配慮した事業手法を採用し多様なニーズに応じたプログラムを提供する

### 公園パートナーと魅力づくり 町民との協働

- ◆公園パートナーとして、これまでの植樹以外での公園づくりへの参加ができる場面の創出
- ◆町民参加のイベント実施
- ◆公園管理運営への町民参加によりニーズの変化に対応できる体制の堅持

### 誰もが快適に楽しめる空間 福祉社会の対応

- ◆高齢者をはじめとした福祉社会への対応として、施設にはユニバーサルデザイン化を施し様々な人が利用できる環境を創出
- ◆子どもをはじめとして、安全安心を守れるよう配置しながら親しまれるよう整備

### 次世代への継承づくり 広域レク需要

- ◆既存のパークゴルフ場を含め、ハイキングやピクニック、トレッキングなど家族で楽しめるアウトドア活動の需要に対応した整備
- ◆家族が1日遊んでも満足でき、リピーターとして再来場を望むレクリエーションニーズを創出
- ◆多人数でも対応できるサービス施設の充実

# 整備コンセプト

## ■ 利活用ゾーニング・動線計画

4つの大きな場所それぞれに、さまざまな人々の体験と物語を紡ぐ12の場所をゾーニングする。

楽しみの場所

「人と人の交流が育まれる場所」

ふれあいの場所

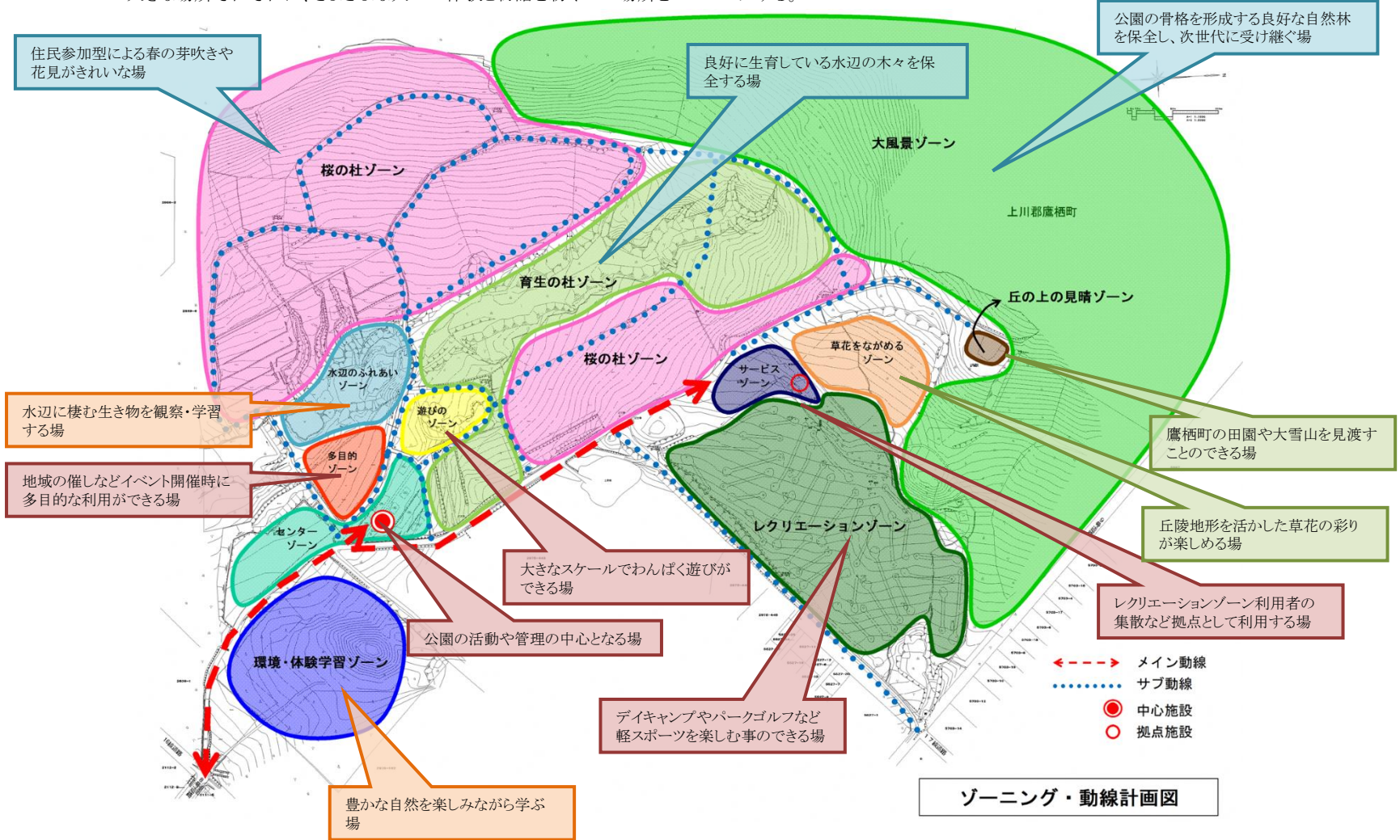
「自然豊かな緑や生き物とふれあい・学ぶ場所」

のんびりする場所

「市街地の眺望と草花の彩りがきれいな場所」

守り・育てる場所

「次世代へと引き継がれるみどり豊かな場所」



ゾーニング・動線計画図

**桜の杜ゾーン**  
・住民参加型による春の芽吹きや  
花見がきれいな場

**育成の杜ゾーン**  
・良好な水辺環境を保全する

**大風景ゾーン**  
・公園の骨格を形成する良好な自然林

**サービスゾーン**  
・駐車場  
・トイレ

上川郡鷹栖町

**丘の上の見晴ゾーン**  
・鷹栖町市街地の眺望ポイント

**遊びのゾーン**

**水辺のふれあいゾーン**  
・沢水を利用した流れ・池での観察、学習

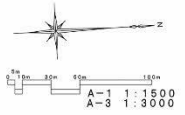
**多目的ゾーン**  
・催しなどに利用できる芝生の多目的広場

**センターゾーン**  
・駐車場・トイレ  
・管理棟・ミントなどのキッチンガーデン  
・水遊び場  
・草花畑のボーダー植栽  
・屋根付休憩施設等

**環境・体験学習ゾーン**  
・良好な自然環境を活かした学習広場  
・解説板  
・ベンチ等

**草花をながめるゾーン**  
・丘陵地形を活かした  
コニファーガーデン  
・散策路・屋根付休憩施設等

**レクリエーションゾーン**



# パレットヒルズ 基本計画図

# 今後に向けた課題

## 管理運営計画

### 管理運営計画の基本的な考え方

#### 運営組織の立上げ～公園づくりの参加・活動の展開

「パレットヒルズを考える会」などとの連携を図りながら、**町民参加型の管理・運営を目標**とするのが望ましく、事業の進行段階に併せ、**行政と協働で管理・運営のマニュアルづくりを進める**ことが必要となる。

### 運営組織

<b>運営体</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>公園における活動の展開やプログラムを企画・実行する。</li> <li>運営組織を通じて、ノウハウの蓄積や人材育成を進めていく。</li> <li>町内の小中学生に向けて、参加募集のPRを行い、公園づくりに参加する子どもたちの(仮称)「つくり隊」の組織化を目指す。</li> </ul>
<b>野外体験学習グループ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ、フィールドワーク、グランドワーク、アートワークなど幅広い展開を進め、楽しい野外体験学習を提供する。</li> <li>フィールドワークでは「環境学習」、グランドワークでは「公園づくり体験」、アートワークでは「環境芸術」を主なテーマとして進めていく。</li> <li>プログラムリーダー及びブレイリーダーとしては、ボランティア・NPOで活動している市民や大学生を中心に、「自然観察指導員」などの資格を持った人材や、パレットヒルズに精通している経験者を確保する。</li> </ul>

### 4-2 運営ノウハウと人材発掘・育成

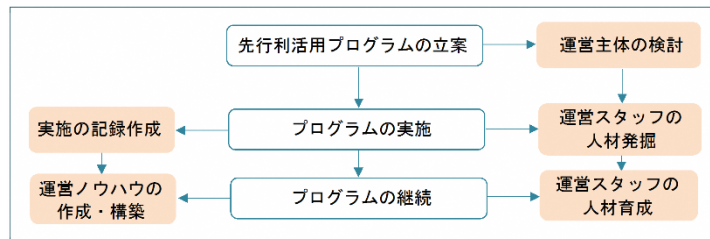
#### 先行利活用プログラムの実施

本公園の適当なエリアを利用した定期的な体験型ワークショップを開催しながら、体験学習運営のノウハウや公園内の良好な自然資源などの情報を蓄積しつつ、**継続的に運営に参加してくれる人材を発掘・育成**していくことが望ましい。

体験型ワークショップの開催にあたっては、特に以下の点に留意する必要がある。

- ① 体験型ワークショップが単なるPRやイベントに終わらないよう、関連する団体など主旨や方向性を整理し、年間を通したプログラムの具体的な内容や費用、また求める成果について検討する。
- ② プログラム運営に携わるスタッフについては、当初は委託も考えられるが管理・運営団体などのプロパーを育成することを目指すため、できるだけ早い段階から可能性のある人にプログラムに参加してもらうことが重要である。
- ③ 得られたデータや実施した後の反省など、プログラムの質の向上を図るため、プログラムの記録を整理・保管することが重要である。

#### 先行利活用プログラムの流れ



#### 先行利活用プログラム案

体験型ワークショップの活動内容について一例を示す。

季節と公園物語づくり	物語のテーマ	プログラム
春の風景をさがす 芽吹き風景	森づくりの準備 自然感動体験	植物といのちの景 植樹 観察・写生 バーベキュー
夏の風景をつくる 森の風景	昆虫マップ 発見感動体験	アートと音の景 昆虫さがし 鳥の声 ピザづくり
秋の風景にふれる 紅葉の風景	オブジェ試作 創作感動体験	彩りと実りの景 どんぐり拾い 下敷きづくり やきいも
冬の風景とあそぶ 雪の風景	雪の造形 しぼれ感動体験	水と光の景 イグルー かんじきウォーク 豚汁

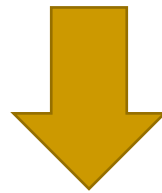
### 4-3 財源の確保

都市公園の利活用の現状をみると、**数多くのボランティアによって支えられているのが実情**であり、環境・体験学習事業が独立採算で成り立っている例は全国をみても数少ない。参加者を集め、体験学習プログラムを実施するためには、**実費徴収だけでは無理でプログラム立案にかかる調査研究や企画、広報宣伝等に費用がかかる**。また、プログラムリーダーを補佐する人材についても、いわゆる**無償のボランティアだけでは実施するうえで確実性に欠ける**。少なくとも**責任を持って取り組んでもらえるような報酬**についても検討する必要がある。また、**プログラム実施中の事故に対する責任の所在と保障をするための保険も必要**である。

一つの提案として考えられるのは、**緑の啓蒙活動の一環として環境保全への関心が高い企業の参加を得て、プログラムの共催や協賛金を求めていくことや、指定管理者制度導入による、協働運営によって経費の削減と効率的な運用を図っていく**ことが考えられる。

# 基本構想の振り返り・今後の展開について

- 令和7年度に開催した「パレットヒルズを考える会」における議論



「第2版基本構想」の振り返りと  
今後の管理運営・利活用方針を示す  
「第3版基本構想」を検討

# 第3版策定の背景と基本的な考え方

## 背景

- 公園利用（パークゴルフやキャンプ等）を取り巻く環境が変化。第2版基本構想を振り返り、今後の管理運営・利活用方針の検討が必要。

## 基本的な考え方

- 町民の杜としての自然との共生
  - ・自然や豊かな生態系が魅力である公園を活かし、基本方針に沿った活動を進めることで、多世代とのコミュニティの創出を図る。

# 現状における課題について①

パークゴルフ場の運営について

→減少が見込まれる利用者数の維持を図るため、定期的な大会等の継続、若年層の利用促進を図る。利用状況の推移を鑑み、今後の利活用について見直しを検討。

## 現状における課題について②

### キャンプ場の運営について

→コロナ禍での非日常体験として需要が伸びていたキャンプ利用について、近年減少傾向にある。ニーズを踏まえたソフト事業を展開することにより満足度向上を図る。

## 現状における課題について③

マネジメント人材について

→パレットヒルズの魅力や利活用の拡大に向けた企画運営を進めていく上で、マネジメントの継続性及び人材の確保が必要。集落支援員の活用により、地域づくりや観光による町全体への活性化を図る。

# 課題を踏まえた今後の管理運営・利活用方針 について

- ① 杜づくりの推進 基本方針  
(自然と共生した杜)
- ② 事業運営サポーターの組織化 基本方針  
(町民と行政との協働作業による手づくりの杜)
- ③ 新たな利活用方法 基本方針  
(ニューツーリズムを意識した観光資源としての杜)
- ④ 自然の学びや触れ合う環境づくり 基本方針  
(次世代に引き継ぐ町民の杜)

## ① 杜づくりの推進 (基本方針 自然と共生した杜)

- 自然環境に配慮した保全活動の推進  
(持続可能な杜づくりのためのワークショップの開催など)
- 生物の多様性を知るフィールドワークの実施  
(リスや野鳥類観察のフィールドづくりなど)
- 企業との連携による地域の杜としての環境保全の取組み
- 植樹祭(混播法による杜づくり)の継続実施

## ②事業運営サポーターの組織化

(基本方針 町民と行政との協働作業による手づくりの杜)

- 現状、事業運営サポーターの組織化には至っていない。考える会を定期的に行き催し、課題を整理したうえで、協働による「町民手づくりの杜」を実践していく。
- 持続可能なものとなるよう、参加人数の拡大を呼びかけてもらうことにより「パレットヒルズファン」を増やし、人材発掘や仲間づくりの広がりを目指す。

### ③新たな利活用方法 (基本方針 ニューツーリズムを意識した観光資源としての杜)

- パークゴルフ場の継続運営及び利用者の多目的利用の推進  
⇒ 多世代の利用に繋がる仕組みづくり
- 園路や広大な土地を活かした利活用の展開について  
⇒ スポーツや健康づくりに活用できるよう、関係機関・団体との検討(たかすスポーツクラブ等との連携を模索)  
観光資源としてのイベント開催などの奨励(事業者間との連携)
- 自然を保全しつつ四季を感じることができる草花を植栽し、園内散策の鑑賞スポットを創出  
⇒ 休憩しながら散策できるよう、必要に応じてベンチ等の整備
- 冬のアクティビティによる冬季利用の推進  
⇒ 冬キャンプ、たかスノーランドなどの充実による利用拡大

## ④自然の学びや触れ合う環境づくり

(基本方針 次世代に引き継ぐ町民の杜)

- 町民の杜を次世代へ継承していくため、自然の学びや触れ合う環境づくりに取り組んでいくことが重要。

→自然とのつなぎ役・マネジメント人材の介在  
(自然案内や遊び方、体験イベントの創出、貸出道具の充実、教育委員会との連携等)

# 整備について

- ✓ 1 2のゾーニングを維持し、利用環境の向上や安全対策に資する整備の推進

- ・キャンプ場運営に関する必要な整備
- ・新たな利活用方法の創出  
(管理棟やピザ窯の有効活用等)
- ・安全に配慮した園路整備  
(歩経路の確保(木質チップ・砂利敷等)、危険個所を確認し、注意看板やマップを作成し周知)